

REPORT
2007
9/26
午前

Momiji Health Care Society

[モミジヘルスケアソサエティ]



老人

モミジヘルスケアソサエティを視察して

神奈川県 ふれあいの森 吉岡博子

モミジヘルスケアソサエティは1976年に日系カナダ人高齢者を対象に、ボランティアおよび専門家により設立された非営利団体である。より豊かな老後を作り上げるお手伝いをするを目的とし、可能な限り自宅にて自立した生活を送ることができるよう支援する。

いろいろなサービスを提供するが、自宅での独立した生活が困難、または、望ましくない状態になった場合にも住宅施設（日本の老人ホーム）の提供や介護サービスの提供も行っている。

サービス内容は、

- ・自宅への和食配達サービス
- ・無料自宅訪問（話相手・簡単な掃除・入浴等の手伝い）
- ・送迎サービス（買い物・病院・施設等）

で、年間3,025名にサービスの提供を行っている。

利用者の平均年齢は80歳で、在宅支援の質の高いケアをし、満足度アンケートでは99%満足との結果が出ている。

建物は9階建てで、7階分（3～9階）はアパートになっている。オンタリオ州政府の資金により賄われ、1、2階の共用の施設はモミジヘルスケアソサエティが直接運営管理をしている。1、2階はセンターの中心といえる場所で入居者や近隣に住む高齢者の生活の質を高める各種の設備が整い、レクリエーションや趣味活動の場となり、地域生活の出来事などを把握できる場所である。

職員は31名（うちカナダ生まれは2名、他は移住者である）。



所長のBirgitte Robertson（ピアギータロバートソン）氏より説明を受ける

ボランティアは年間650名で職員数に換算すると17名分の職員と同じである。

職員教育は介護の質の向上を支援する委員会を設け、職員の教育にあたり、離職率は0%とのこと。

今回、高齢者から児童まで6施設を視察して、この国が「サラダボウル」「モザイク」と表現されているように、あらゆる文化的・民族的背景をもつ人びとの多様な人間関係の中に身をおき、自己主張もするが、相手の立場も尊重し、互いに助け合うという自己実現と幸福を追求でき、人間らしい状態を求めることができる国と感じた。

その背景には支え合いの活動の多くが地域社会、ボランティアの手で運営されていて、特にボランティアの数の多さにはとても驚かされた。

また、チャリティの企画、運営をする専門の職員がいて、施設の運営も寄付で賄うという国民性、宗教の違いもあると思うが、これからの私たちの課題のひとつと感じた。